

成蹊大学情報図書館に行きました！

蔵 No. 9

9月20日（火）、Lissは成蹊大学情報図書館を見学しました。成蹊大学は2012年をもって、学園創立100周年を迎えます。その記念事業「新・成蹊創造プラン」の一環として、情報図書館は2006年に新しく建て替えられました。法学系、人文科学系、社会科学系、歴史・地理系、経済系、日本・アジア文学、外国文学、理工系の、分野別のフロアに図書が配架されています。

ガラス張りの不思議な球体「プラネット」

情報図書館には、「プラネット」と呼ばれるガラス張りのグループ閲覧室が5つあり、大きな特徴となっています。ここでミーティングをしたり、グループ学習をしたりするそうです。本学図書館のグループワーキングルームと用途は同じですが、プラネットはガラス張りのため閉塞感がなく、より落ち着いて作業できそうです！

個別閲覧席も多数あります。中でもガラス張り・PC設置・空調完備の個室は、落ち着いて快適に作業することができるため、かなりの人気だそうです。

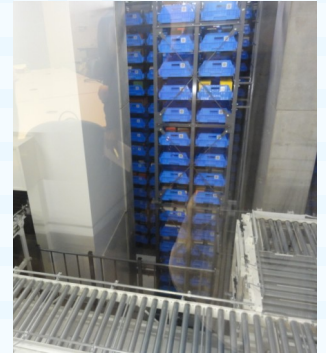


大きい図書館ならではの「自動書庫」

成蹊大学情報図書館の目玉の1つとして「自動書庫」が挙げられます。情報図書館地下2階フロアを全て使用しており、収蔵能力は約72万冊。利用者の求める資料が自動書庫にある場合、資料

データを入力することにより、該当資料が書庫から自動で運ばれてくる仕組みです。

近年、蔵書量の多い大学図書館で自動書庫が導入されることが増えており、今後「大きな図書館では自動書庫を使っていることは普通だ」と言われる日が来るかもしれませんね！



情報図書館 Floor Guide

フロア説明	
エリア	飲食 通話 会話
書庫・メディアルーム	× マナーモード ×
クリスタルキャセル	× マナーモード ×
アトリウム	× マナーモード △ 小売店の学習会
プラネット	× マナーモード ○ 学習会
エントランス	× マナーモード ○ 学習会
リフレッシュエリア	○ ○ 学習会

記号説明	
▲	入口
②	カウンター
④	トイレ
⑤	だれでもトイレ
⑥	エレベーター
⑦	階段



成蹊大学情報図書館には学生スタッフがおり、図書の貸出や蔵書点検などを行っているそうです。他にも、店頭選書ツアーや書評コンテストなどのイベントを行なっていることに親近感を覚えました。

1階の一角に綺麗なテラスがあったりなど、勉強がはかどりかつ1日中滞在できる印象を受けました。学生にとっては実に嬉しいことですね！

今回の見学で見聞きしたことを参考に、本学図書館をより良くしていけるよう頑張りたいと思います！

成蹊大学情報図書館の皆様、忙しい中見学のお時間を作っていただき、ありがとうございました！